

2020 横浜スポーツ学術会議

開催形式変更に伴う改訂版



2020年横浜スポーツ学術会議 組織委員会
日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会
日本スポーツ体育健康科学学術連合（JAASPEHS）
一般社団法人日本体育学会

ご挨拶

2020年に入ってから驚異的なスピードで世界に広まったCOVID-19によりウイルス感染により亡くなられた方々にお悔み申し上げると共に、被患されている方々に心よりお見舞い申し上げます。

私たちは今、大きな困難に直面し、変革を余儀なくされています。ウイルスは未だ収束せず、ワクチンの開発が急ピッチで進んでいますが、世界中の人々が感染の恐怖なく日常に戻るまで、まだまだ時間がかかることが推察されます。

私たちも、2020年9月に横浜にて2020横浜スポーツ学術会議を開催し、世界各国の仲間と集い、最新の知見を得、経験を共有することを楽しみに準備を進めてまいりましたが、いまだ先行きが不透明なこと、また横浜に数千名を超える人数が世界各国から集うことに対する懸念が払しょくできないことを踏まえつつ、日進月歩で進歩する研究・調査の報告・共有の場を確保すべく、参加者が物理的に集い交流する形式ではなく、オンラインでの開催に変更することを決定いたしました。

開催形式の変更に伴い、参加者の皆様にとっては渡航・移動の負担が軽減されたこと、また参加登録費を大幅に減額したことにより、参加のバリアは低くなっております。この危機を機会ととらえ、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。 ..

今回のCOVID-19の蔓延に伴う外出自粛の中、凶らずもスポーツ、体を動かすことの重要性・意義が広く再認識される機会にもなりました。2020年には横浜に直接参加者を迎えることはできませんが、新しい生活様式・新しい社会生活が生まれようとしています。皆様におかれましても、この機にさまざまな見直しをご検討されているかとは思いますが、改めて本会議のご参加をお願いいたく、よろしく願いいたします。

2020 横浜スポーツ学術会議 会長
阿江通良、深代千之

2020 年横浜スポーツ会議組織委員会
組織委員長 來田 享子

会議の名称

和文名： 2020 横浜スポーツ学術会議
英文名： The 2020 Yokohama Sport Conference

1. 主催・後援

主催

一般社団法人日本体育学会

日本スポーツ体育健康科学学術連合 (JAASPEHS)

日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会

(一般社団法人日本体育学会を代表組織とする)

主管

2020 横浜スポーツ学術会議 組織委員会 (主催 3 組織による連合組織)

協力： International Council of Sport Science and Physical Education (ICSSPE)

後援： スポーツ庁、日本スポーツ振興センター (JSC)、日本スポーツ協会 (JSPO)、日本オリンピック委員会 (JOC)、日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、笹川スポーツ財団、全国大学体育連合、日本フィットネス産業協会、神奈川県、横浜市、神奈川新聞、tvk (テレビ神奈川)

2. 開催時期

2020 年 9 月 8 日 (火) ～9 月 22 日 (火) [15 日間]

3. 開催場所

会議公式ホームページ上でのオンライン開催 (<http://yokohama2020.jp/>)

4. 参加予定者数

約 1,000 名 (一般社団法人日本体育学会会員*は無料にて参加)

*会員数：6,000 名超、通常の学会大会参加者数は 3000 名以上

5. 会議の意義と開催目的

オリンピックの年に4年ごとに大規模な国際スポーツ科学会議が開催されるようになったのは、1964年東京オリンピックの 때가最初であると言われています。2020年に再び東京でオリンピック・パラリンピックが開かれるこの機に、国際スポーツ科学・体育協議会（英：International Council of Sport Science and Physical Education, 略称：ICSSPE）の協力のもと、日本でこの歴史を継承する国際会議を開催し、当該分野と人間社会への発展に大きく貢献することを目指して、本会議は開催されます。

ICSSPEは身体活動やレクリエーション・スポーツの科学的研究を促進するために設立された国際機関です。1958年、パリにおいて国際スポーツ・体育協議会（ICSPE）として発足し、1982年に現名称となりました。ICSSPEには現在、約230のスポーツ・体育・スポーツ科学関係の国際・国内団体が加盟し、ユネスコ、国際オリンピック委員会（IOC）、世界保健機構（WHO）、国際体力医学会（FIMS）等とも密接な協力関係のもとで活動しています。ICSSPEは数百万人を数える当該分野の世界最大のネットワークをもって、学際的な協力関係を創造し、調査研究・教育・健全なスポーツ活動の提唱を通して人間社会の発展に寄与しています。

国際会議の開催が珍しくなくなった今日でも、本会議のような体育・身体活動・スポーツに関係する多分野・多業種の専門家が一堂に会し共同して、複雑化した社会における諸課題の解決の糸口を探り、将来を展望することは、大変ユニークで貴重な機会となります。

6. 会議構成

1) テーマ

Contributing to a Sustainable World（多様な人々が共に生きる世界をめざして：体育・健康・スポーツ科学の貢献）

2) 会議使用言語

英語（一部日本語）

3) プログラム

発表演題数：1,300 演題（一般公募演題）

60 演題（テーマ別講演・シンポジウム）（5月26日現在）

21 セッション（一般公募シンポジウム）（5月26日現在）

4) 開催の目的

プログラムは、メインテーマ“Contributing to a Sustainable World”（多様な人々が共に生きる世界をめざして：体育・健康・スポーツ科学の貢献）を具体化する多彩なカテゴリーで構成されています。基調講演に続くシンポジウムでは、分野横断的な学際性の高いアプローチや、多様な文化圏からなる国際比較を旨とし、議論の交流を深めることで新たな気づきや研究開発の創造を刺激します。さらに一般研究発表においては、カテゴリー内外の多数の研究交流の場を提供します。

7. 参画学会

＜日本スポーツ体育健康科学学術連合加盟学術団体＞

大阪体育学会
体育史学会
東京体育学会
日本アスレティックトレーニング学会
日本アダプテッド体育・スポーツ学会
日本運動疫学会
日本運動・スポーツ科学学会
日本コーチング学会
日本ゴルフ学会
日本生涯スポーツ学会
日本女子体育連盟
日本スポーツ運動学会
日本スポーツ栄養学会
日本スポーツ教育学会
日本スポーツ社会学会
日本スポーツ心理学会
日本スポーツパフォーマンス学会
日本スポーツとジェンダー学会
日本体育科教育学会
日本体育学会
日本体育・スポーツ経営学会
日本体育・スポーツ政策学会
日本体育・スポーツ哲学会
日本体育測定評価学会
日本体力医学会
日本テニス学会
日本トレーニング科学学会
日本バイオメカニクス学会
日本発育発達学会
日本バレーボール学会
日本フットボール学会
日本武道学会
ランニング学会
日本スポーツマネジメント学会

＜日本スポーツ体育健康科学学術連合非加盟学術団体＞

日本スポーツ法学会
日本未病システム学会
日本養生学会
日本臨床スポーツ医学会
日本スキー学会

8. 組織委員一覧（順不同、所属は委員会設立時）

2019年6月現在

＜主催＞2020 横浜スポーツ学術会議推進委員会

顧問	福永 哲夫	鹿屋体育大学名誉教授・前 JAASPEHS 代表 元日本体育学会会長・元日本学術会議分科会委員長
会長	阿江 通良	JAASPEHS 代表・日本体育大学
	深代 千之	日本体育学会会長・東京大学
副会長	友添 秀則	日本体育学会第一副会長・早稲田大学
	桜井 伸二	日本体育学会第二副会長・中京大学
	來田 享子	JAASPEHS 副代表・日本体育学会副会長・中京大学
監事	池上 康男	日本体育学会監事・愛知淑徳大学
	高橋 和子	日本体育学会理事・静岡産業大学

＜主管＞2020 横浜スポーツ学術会議組織委員会

組織委員長	來田 享子	JAASPEHS 副代表、日本体育学会副会長、 日本学術会議分科会幹事
副委員長	田原 淳子	日本学術会議分科会委員長、 日本体育学会特別委員会委員
委員	菊 幸一	JAASPEHS 監事、日本スポーツ社会学会
	岡出 美則	日本体育学会特別委員会委員、 日本体育科教育学会
	三木 ひろみ	日本体育学会特別委員会委員、 日本スポーツ教育学会
	須田 和裕	JAASPEHS 運営副委員長、日本体力医学会
	船渡 和男	JAASPEHS 運営委員、東京体育学会
	八木 ありさ	JAASPEHS、日本女子体育連盟
	高峰 修	JAASPEHS 監事、スポーツとジェンダー学会
	松岡 宏高	日本スポーツマネジメント学会

9. 実行委員一覧（順不同、所属は委員会設立時）

2019年6月現在

<総務委員会>

委員長	來田 享子	JAASPEHS 副代表、日本体育学会副会長、 日本学術会議分科会幹事
副委員長	八木 ありさ	日本女子体育連盟
委員	石塚 創也	JAASPEHS 事務局
	高野 牧子	日本女子体育連盟

<学術委員会>

委員長	田原 淳子	日本学術会議分科会委員長、 日本体育学会特別委員会委員
副委員長	菊 幸一	JAASPEHS 監事、日本スポーツ社会学会
副委員長	宮地 元彦	日本学術会議会員、分科会幹事
委員	須田 和裕	JAASPEHS 運営副委員長、日本体力医学会
	八木 ありさ	日本女子体育連盟
	船渡 和男	JAASPEHS 運営委員、東京体育学会
幹事	田中 重陽	日本ゴルフ学会

<国際委員会>

委員	田原 淳子	日本学術会議分科会委員長、 日本体育学会特別委員会委員
幹事	ライトナー・カトリン	日本体育学会

<学術企画委員会>

委員	井谷 恵子	日本学術会議連携会員
	荻田 太	日本学術会議連携会員
	佐々木 玲子	日本学術会議連携会員
	定本 朋子	日本学術会議連携会員
	寒川 恒夫	日本学術会議連携会員
	永富 良一	日本学術会議連携会員
	三輪 清志	日本学術会議連携会員
	八木 ありさ	日本女子体育連盟（兼務）
	高野 牧子	日本女子体育連盟
	稲垣 敦	日本体育測定評価学会
	前田 博子	日本スポーツとジェンダー学会
	吉野 聡	日本体育科教育学会
	深澤 浩洋	日本体育・スポーツ哲学学会
	角田 直也	日本ゴルフ学会
	木塚 朝博	日本体育学会
	佐野 昌行	日本運動・スポーツ科学学会
	佐藤 誠	日本スポーツ運動学会
	西山 哲郎	日本スポーツ社会学会
	前田 明	日本スポーツパフォーマンス学会
	掛水 通子	体育史学会

秋間 広	日本トレーニング科学学会
平田 大輔	日本テニス学会
高田 和子	日本スポーツ栄養学会
田口 素子	日本スポーツ栄養学会
難波 秀行	日本運動疫学会
桑原 恵介	日本運動疫学会
伊阪 忠夫	日本バイオメカニクス学会
田中 信行	日本アダプテッド体育・スポーツ学会
内田 匡輔	日本アダプテッド体育・スポーツ学会
工藤 保子	日本生涯スポーツ学会
作野 誠一	日本体育・スポーツ経営学会
須田 和裕	日本体力医学会（兼務）
金子 史弥	日本体育・スポーツ政策学会
齋藤 健司	日本体育・スポーツ政策学会
安松 幹展	日本フットボール学会
大友 智	日本スポーツ教育学会
関矢 寛史	日本スポーツ心理学会
井筒 柴乃	ランニング学会
野村 照夫	日本コーチング学会
船渡 和男	東京体育学会（兼務）
松岡 宏高	日本スポーツマネジメント学会
清水 美穂	日本未病システム学会
石堂 典秀	スポーツ法学会
黒川 貞生	日本バレーボール学会
今井 一博	日本臨床スポーツ医学会
広瀬 統一	日本アスレティックトレーニング学会
倉持 梨恵子	日本アスレティックトレーニング学会
越田 専太郎	日本アスレティックトレーニング学会
藤田 恵理	日本養生学会
新井 博	日本スキー学会
山根 真紀	日本スキー学会
野井 真吾	日本発育発達学会
春日 晃章	日本発育発達学会
藤井 勝紀	日本発育発達学会
石川 昌紀	大阪体育学会
松井 完太郎	日本武道学会

<財務委員会>

委員長	岡出 美則	日本体育学会特別委員会委員 日本体育科教育学会
副委員長	齋藤 まゆみ	日本体育学会会計担当理事
幹事	齋藤 うい	日本体育学会事務局

<会場・運営委員会>

委員長	高峰 修	JAASPEHS 監事、スポーツとジェンダー学会
-----	------	--------------------------

< 渉外・接遇委員会 >

委員長（接遇）	三木 ひろみ	日本体育学会特別委員会委員 日本スポーツ教育学会
副委員長（協賛）	須田 和裕	JAASPEHS 運営副委員長、日本体力医学会
副委員長（広報）	船渡 和男	日本体育学会、東京体育学会
副委員長（広報）	松岡 宏高	JAASPEHS、日本スポーツマネジメント学会

10. 事務局連絡先

2020 年横浜スポーツ学術会議 事務局
（株）コンベンションリンケージ内
TEL : 03-3263-8695 / FAX : 03-3263-8693
E-mail : yokohama2020-cl@c-linkage.co.jp
公式ホームページ : www.yokohama2020.jp